

苗字よりも **血縁** 両家墓という選択肢

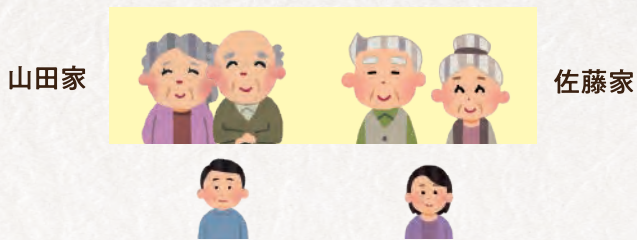
後継ぎが一人娘の場合...

お墓の継承、墓守りについてお悩みの方も多いと思います。
親子代々のお墓でなく、
自家と配偶者の家のお墓など複数の家のお墓を
一つにまとめて供養するお墓として昔から
「両家墓」という方法があるのをご存知ですか？

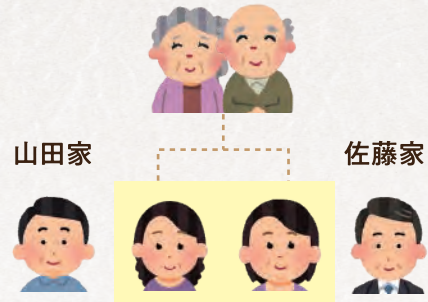


例えば、このような方々がご利用されています

例.1 それぞれのご実家で両家墓 (長男・長女同士のご夫婦)



例.2 仲の良いご姉妹で両家墓



例.3 ご親族皆さんで同区画



例.4 将来に備え娘さんと一緒にの区画に



\\ これ以外にも、ご事情にあわせて対応致します //

両家墓には
こんな良いことが
あります

- ・4人のおじいさん・おばあさんに一度に会えます。
お墓参りの時間にゆとりが生まれます。
- ・費用面でもメリットあり。
必要な墓地や墓石が一組分で済むケースも。
- ・無縁墓のリスクがなくなります。
後継ぎや転勤による無縁墓化のリスクが大幅に減ります。

1

1つの区画に2つお墓の両家墓

ひとつの区画の中に、両家のお墓を1基ずつ合計2基を建てる形の「両家墓」です。

新しく墓石を建てる場合と、もともとあったお墓を移動させる場合があります。

広い区画と相応の費用が必要とはなりますが、家系ごとにご遺骨を埋葬できます。



両家墓

2

1つのお墓に2つの苗字の両家墓

1つの墓石に両家の家名を並べて刻む形の「両家墓」です。

棹石に両家の家名を刻む場合、「○○家之墓」または、家名だけを2つ並べる形があります。

また、棹石には好きな言葉などを大きく刻み、花立、外柵の門柱などに両家の家名や家紋を刻む形もあります。



1つのお墓に2つの納骨堂の両家墓

3

1つの墓石に2つの納骨室を配置した形の「両家墓」です。

納骨室は入口から完全に分かれているタイプです。それぞれ独立しているので家系ごとに納骨することができます。

それぞれの家名は、棹石や花立、外柵の門柱などに刻みます。



色々な

五輪塔の両家墓

4

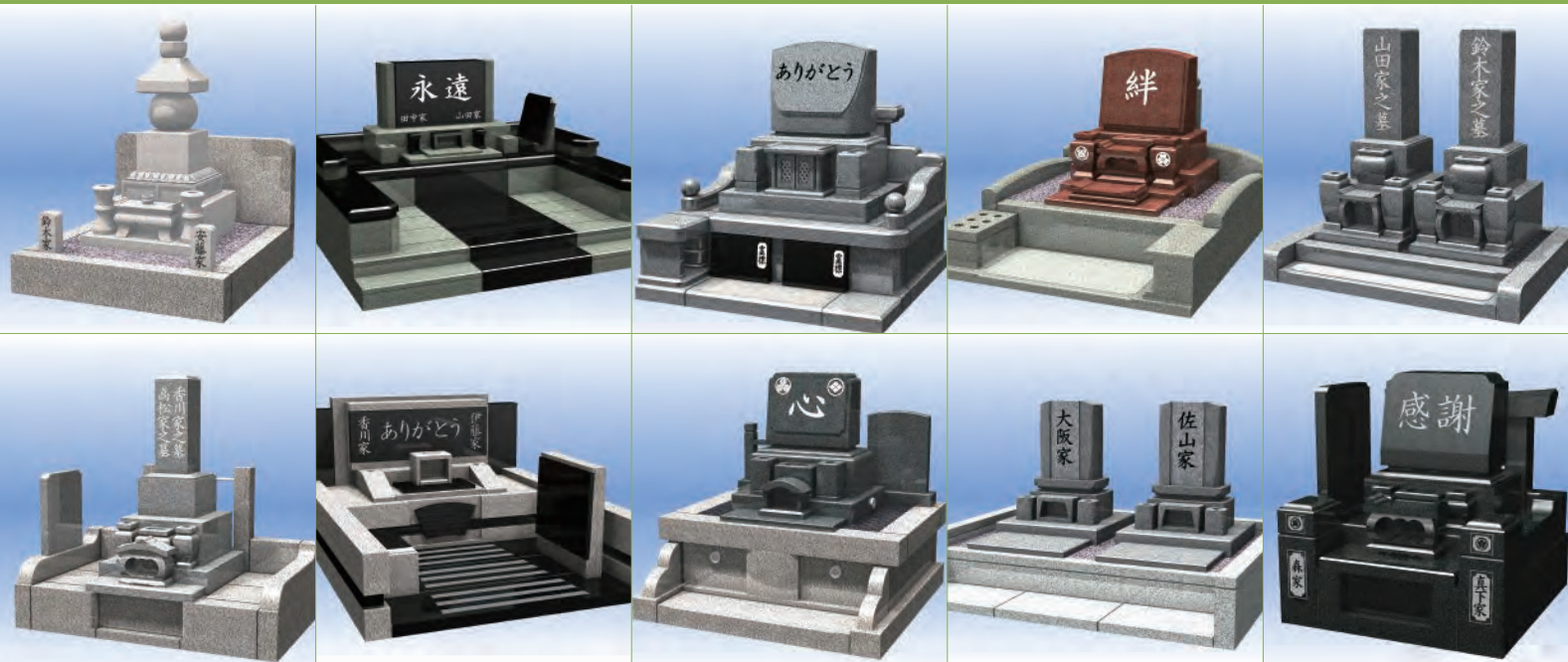
両家墓は、最近になってできた新しいお墓のかたちではなく、昔からある供養の方法です。

いわゆる、「寄せ墓」と言われるこの方法は、ひとつの墓域に夫婦墓や先祖代々のお墓、親戚のお墓などが林立している場合に、それらを一旦整理して、新たに建立した供養塔にお遺骨をまとめて供養するものです。

梵字が彫られた五輪塔は古くから「諸仏諸尊をお迎えし、仏様をお祀りする塔」として建てられてきた歴史があり、昔から寄せ墓に最適な形として選ばれています。



さまざまな両家墓のカタチ



両家墓 Q & A



Q1

どんなメリットがある？

A1

最大のメリットは1人で2つの家の祭祀継承者になれることです。他にもお墓参りや、お墓の建て替え・管理費も1軒分になり負担が少なくなります。

Q2

それぞれの実家が遠いけど大丈夫？

A2

お墓参りが1度で済みますが、2つのご親族がお墓参りすることになります。それぞれのご親族にとってアクセスの良い場所を選ぶようにしましょう。

Q3

注意点はありますか？

A3

両家墓を許可していない墓地・霊園もあります。他にも宗派の一致や、他の親族の了解が必要になります。

両家墓について
コラム記事でもご紹介



※お困りごとがあれば、石材店へご連絡ください

石材店からひと言アドバイス

お墓の後継ぎがいらっしゃらなくて建墓をあきらめているお客様も是非、一度ご検討ください。